

韓国、香港、台湾)がペーパーを提出して討議にはいったのであるが、日本からのペーパーは寺尾琢磨教授の“Impact of Education on Family Planning”, 愛育会の我妻氏の“Intra Uterine Devices Practice in Japan”, それに篠崎の“Fertility Reduction by Family Planning Program in Japan”の3編であった。

会議全体を通じて感じたことは、第1回の西太平洋地域会議を日本で開いたころからみると格段の相違で、つまり会議の形式が進歩したことである。以前、香港で本会議を開催したとき出席した印象からみると、さらに権威が高まりつつあることは否定できない。つまりこの会議には正式メンバー以外に、前記のアフリカ地域や南アジア地域からの参加もあり、さらに国連のWHOからも参加していることから察せられる。

ただ問題は、今日の日本の家族計画の現実と東南アジアのそれとは開きがあることで、日本はなにも新式の受胎調節技術を導入しなくても出生率は最低になっているということである。したがって、なにを参考としてアジアの人々に実証的に参考となる具体的発言があるかどうかということになると、さまざまな壁に直面せざるをえないのである。先方は過剰人口の悩みで、なんとしても自然増加率を1%に早くもっていきたいという数の問題である。しかし、西太平洋地域の国々は台湾を始め韓国でもかなりの効果を示し始めている。運動としては香港が最も活動的で、また効果的なやり方をしているのが注目された。

最後は、日本の加藤シズエ女史が chairman として閉会の言葉を述べたが、このなかでやはり日本の北海道大会(昭和43年母子衛生家族計画全国大会, 10月7・8日)で問題になった話を巧みに織り込みながら、家族計画ということについての技術以外の問題提起を含めて、その重要性を喚起した closing speech はみごとなものであったと思う。

(篠崎信男記)

ハワイ東西センター人口研究プログラム国際諮問委員会

東西センター「人口研究プログラム」国際諮問委員会第1回会議(East-West Center Population Studies Program International Advisory Committee Meeting)が1968年12月16・17日の2日間、ハワイ・ホノルルの東西センターにおいて開催され、本研究所の黒田俊夫技官(人口移動部長)もこれに出席した。この国際諮問委員会はアジア(オーストラリアを含めて)側から10名、アメリカ側から議長の Dr. P. M. Hauser を含めて6名、合計16名の委員によって構成されている。

今回の会議では、アメリカ側の3名、アジア側では1名の欠席者があり、出席者は12名であった。アジア側は韓国(C. S. Roh), 日本(黒田俊夫), 台湾(L. P. Chow), フィリピン(M. B. Concepcion), インドネシア(Kartono Gunawan), タイ(Visid Prachuabmoh), マレーシア(S. S. Hock), オーストラリア(N. McArthur)の8か国からそれぞれ委員が出席した。

東西センターの「人口研究プログラム」は、1968年6月連邦政府(A. I. D.)から374万ドルの5か年計画予算の資金をもって始められた画期的な人口大プロジェクトである。このプログラムの構想は、1967年7月のEWCとUH(ハワイ大学)の共同主催会議に始まり、アジア専門家に対するアンケート、Dr. Hauserを含む3人専門委員会の検討を経て、1968年6月最終的に決定されたものである。

このプログラムの活動は、とくにアジアに重点をおいた人口分野の教育・訓練・研究・調査・情報整備にあり、そしてアジアおよび太平洋地域の人口ダイナミクス処理の知識、能力の増大を通じて人口問題解決のための action and problems-oriented な人口活動を究極の目標としている点に重大な特徴がある。

アジア側の委員はすべて Organization of Demographic Associates の代表者であり、その点においてこの「人口研究プログラム」とODAグループとの緊密な協力体制が期待される。

なお、第1回組織委員会会議の agenda は次のとおりである。

(黒田俊夫記)

East-West Center
Population Studies Program
INTERNATIONAL ADVISORY COMMITTEE MEETING
December 16-17, 1968
Pacific Room, Jefferson Hall
Honolulu, Hawaii

Agenda

Monday, December 16

- 9: 00 a. m. (Morning session open to interested faculty, students, staff)
Welcoming Remarks: University and Center officials
Discussion of East-West Center Problem-oriented Programs: Chancellor Kleinjans
- 10: 00 Coffee
- 10: 15 Description and Discussion of Population Program: Chancellor Kleinjans
- 12: 00 noon Luncheon, Pacific Room
- 1: 30 p. m. (Joint Meeting with University Population Studies Committee)
Questions from UH Committee, such as:
- a. Curriculum and programs in other institutions
 - b. Developing relationships with other institutions for such activities as graduate student research training, dissertation research, faculty and student exchange
 - c. Research activities under way in other institutions
 - d. Others
- 3: 00 Coffee
- 3: 15 Questions and discussion continued
- 4: 30 Closing remarks
- 5: 00 Reception, College Hill (President Hiatt)
- 7: 00 Dinner

Tuesday, December 17

- 9: 00 a. m. (Advisory Committee with selected staff and faculty)
Questions from Center program such as:
- a. Asian works on population worthy of translation and publication
 - b. Nominations of students, scholars, and trainees
 - c. Significant conference themes and topics
 - d. Short-term training projects
 - e. Library collection in population studies
 - f. Research themes and topics for team research at Center
 - g. Cooperative arrangements for research training and field research projects
 - h. Evaluation of the program
 - i. Others
- 10: 00 Coffee
- 10: 15 Questions and discussion continued
- 12: 00 noon Luncheon
- 1: 30 p. m. Questions and discussion continued
- 4: 30 Closing remarks